# 宣言

一、労働者の生活向上は労働者自らが組織して凡ゆる労働条件の改善は自主運動を起すことによらなくては絶対に出来ない。然るに左右両翼を尖鋭化せしめ無産階級の陣営を攪乱せんとする小児病的労働運動指導者並に徒に労働者を煽動又は個人的排撃をなして遂に全人類の解放運動の戦線を不統一せしめて居る。我等海陸の労働者は斯る指導者を徹底的に排除し我等の心からなる協同的プロレタリアートとしての真の使命をプロレタリアート道徳の上に確立せんとするものである

今や全世の労働者は少なくともプロレタリアート道徳を高潮せしめ労働階級を組織し階級全体の人格化を為し自己の陣営むには先づ整頓しブルジョアー階級をして我等の人格の前に低頭せしめてこそ真の無産階級の共同利益の獲得は期し得るのである。

故に本労働向上会を組織し海陸同胞労働者の共存を計らんとするものである。

我等兄弟達、無智はよいか何等実価のない文華に常られてはならぬ。我等陣営は強固を固く守ることに於て頑固になるのであって資本家をして始めて我等の切実なる要求これ真に労働主義を達成し生産の豊富と生活の安定を実現するものなることを知らしめねばならぬ。我等の兄弟よ我が階級は不に組織を固めるか一致も強い解放の鋭鋒なることを茲に宣言する

昭和四年二月十七日

労働向上会

財團法人 協調會